

新山協ニュース

▲ 発行者 鈴木敏雄 ▲ 発行所 新潟県山岳協会
〒940 長岡市学校町1-12-23 室賀輝男方 TEL 0258-32-0428

今まのあたりに百年ロマン

—— 櫛形山脈

加治川山の会 下 條 莊 市

「堤十里の桜にくれりゃ」と唄われた加治川の桜と、櫛形山脈の大峰山に咲く山桜は阿賀北の小さな村、加治川村の代名詞のようなものでした。しかし2年連続の羽越大水害で加治川の堤防は改修され、同時に桜も切り倒されることになったのです。しかし「加治川村といえば桜」のイメージどおり、春になれば櫛形山脈、特に大峰山付近は山桜見物のハイカーで賑わいをみせています。

櫛形山脈は新発田市、加治川村、中条町にまたがり、蒲原平野の東に並行して走る南北14キロメートル、北は胎内川、南は加治川によって区切られた小さな山塊です。しかし国土地理院より山脈という称号をもらった真正銘の日本一小さい山脈です。なぜこんな小さな山塊に山脈の称号

を付けたのか定かではありませんが、この山脈の歴史的重要性を考えれば、山脈の称号も恥ずかしいことではありません。南の端にある要害山は加地佐々木氏の居城で、古城山は住田集落大天城の本城ではないか？と言われている。又願文山は承久の役の時、酒匂八郎家賢の一族が壮烈な死をとげたことでもありにも有名です。北の端鳥坂山は奥山の荘の本城で、飯額御前などは知らない人はいないと思えます。他にこの山脈はまた調査されていない山城が数多く有り、歴史の臭いがプンプンする中世城砦機構の実物標本といっても過言ではありません。

このように歴史的重要性もさることながら、植性でも他の山塊に類を見ないほど豊富です。大峰山栃平に咲く山桜は国の天然記念物に指定されていますし、貝屋集落にあるお葉付銀杏など、この山脈には珍しい変種が多く発見されています。

まずは4月の中旬から5月上旬頃この山脈を歩いて見ることが勧めます。オオバキスミレとカタクリの大群落、紅山桜の鮮やかに歩む足を止めること請け合いです。

◎ コース紹介

JR利用の場合は羽越線金塚駅下車、国道7号線を渡り新金塚小学校前を通り、登山口の金山集落又は貝屋集落に至る。(この間、徒歩で30分〜40分)車利用の場合は国道7号線を北上、加治川村金塚郵便局脇を右折(新潟方面からの場合)以下JR利用と同じ。

・山城と歴史探訪コース
金山集落より入山、民家に車の駐車をお願いした方が無難と思います。(集落中ほどに案内板あり)集落を過ぎ願文山登り口にある白山神社の境内の階段を登り、神社本殿右にある登山道より登りになります。

・大峰山から櫛形山へ
(櫛形山脈核心部)
貝屋集落より寺沢林道を進み、林道終点で車を止める。歩き出し30分位で一本松眺望台に着きます。ここより栃平の山桜の眺めは格別です。

シーズンであればカタクリ、オオバキスミレの群落に足を止めながら電光型に登って行く、そこはもう大峰山展望台です。願文山が下に見え、水田に水を張った蒲原平野は昔の紫雲寺瀧を彷彿させてくれます。遠くは佐渡ヶ島、粟島まで見たせる時もあり、低山とは言え景観には飽きません。(林道終点より大峰山まで約1時間)

充分眺望を楽しんだ後、山脈最高峰の楡形山へ向けて出発です。

このコースは加治川山の会が10周年を記念して開いた道で、まだハイキングコースとしては充分ではありませんが、来年には完成させる予定です。

しばらく行くと楡形山と箱岩峠の分岐があり、すこし下ると尾根をトラバースして行く道になります。足下にはカタクリの大群落、頭上には山桜の老木が花を咲かせ、シーズン中はどこに腰を下しても足元と頭上の花見ができます。法印瀑への分岐を過ぎ、小

ピークを越えて行くと中条町関沢からの登山道と合流し、低山では珍らしい撫の原生林の中を行くと視界が開けます。そこが山脈最高峰楡形山です。二王子岳、風倉山、飯豊連峰が手に取るように見え、オマケに撫の原生林と、飲む酒の肴は充分です。(大峰山より楡形山まで約2時間)

花の咲く時期、コースなのですが、法印瀑分岐より下り、法印瀑、大瀑を眺めながら一ノ沢道を下り、合流し

た大沢林道を少し登り返し、しばらく行くと「大峰山登山口」の標識があるので、そこより山道を登ると寺沢林道から大峰山へ登る登山道に合流します。(楡形山から法印瀑を経て大沢林道合流点まで2時間。合流点より寺沢林道終点駐車場まで1時間)

苗場山の展望

長岡ハイキングクラブ 渡辺 鉄 男

昭和62年10月17日台風19号通過で、雲が厚く風が強い長岡を出発する。2時間後秋山郷小赤沢に着き1合目で幕営。18日星空、月齢25日の弱々しく輝く月明りを頼りに撤収、風一過を期待して登ってきた。3合目で車を降りて登山準備にとりかかる。ここまでは、上の原と小赤沢から伸びる2本の林道を通って車で入れる。水場は4合目と6合

目手前の2ヶ所あり、7合目より9合目までの間が急斜面になるが、ゆっくり登っても30分位で、苗場山山頂から続く台地の西端に辿り着く。台地が、6合目付近より霧に包まれて50m先の視界がやっとの状態である。折角の紅葉時と思いかメラを担いで登ってきたが、今日は必要なさそう

ある。晴天なら9合目手前で、三角点1881・8mの左肩、北東の方向に越後三山が見えるのだが、今日は望めない。木道を通り山頂に向かう。時々霧が切れ陽が射す。シラビソの樹間に池塘が見えるはずだがと、頭の中に景色を描いてみる。展望の無い山頂は

特別興味がない。石塔が30m程建つ所を通過して、左側に4m程の大石の有る場所で休憩。早速石を山神に見立て、ビールで無事登れた事に乾杯。缶の底をグーと持ち上げて、喉にビールが入るか入らないで缶を置く。青空である。風が出てきて霧を流している。



佐武流山



富士山

霧が一团となって去って行く。を向けていた山は何山？ 確
 雲海の上に各峰々の頂が鎮座 認する。
 している。我々が歩いて来た 正面南側が赤倉山、後ろに
 所だけ雲がかかっていたのか 白砂山、右方向西側へ、佐武
 ？ ザックの底を持ち上げて、 流山が大きく見える。浅間山、
 逆さにして荷物を空けカメラ 籠ノ登山、湯ノ丸山、四阿山、
 を取り出す。またどこから 志賀横手山の無線中継鉄塔が
 霧が流れてきては大変と、夢 はっきり見える。岩菅山、鳥
 中になってシャッターを押す。 帽子岳、低くなって焼額山の
 地塘を！ シラピソを！ パ スキー場ゲレンデがはっきり
 ノラマ写真を撮りたくて20m 見える。黒い横線は飯綱山の
 程を息で登る。見える！ 頭か？ グリーンと遠くなって
 見える！ 霧も走る。霧が飛 前穂高岳、奥穂高岳、北穂高
 んで行く前方にレンズを向け 岳、南岳のキレット、槍ヶ岳
 て、競争でシャッターを押す。 が右側へ傾いている。鹿島槍
 フィルムの入れ換えをする頃 ケ岳の双峰。その左肩奥に大
 には、もう視界を妨げられる きな山が見える薬師岳。五龍
 心配がない陽気になり、気分 岳と唐松岳は、隙間無く並ん
 が落ち着く。すると、レンズ ている。不帰嶮が落ち込みノコ

ギリの歯状にギザギザとなっ ている。右側に大きく聳える
 白馬岳。すると左側に杓子岳、 鐘岳だ。右側に雪倉岳、朝
 日岳かと指を示す。一群手前 が高妻山、乙妻山、黒姫山。
 鳥甲山の後ろに海谷山塊が連 なり、右に妙高山の二重火口
 がはっきり見える。そして火 打山が続く。
 正面赤倉山より左側に目を 移すと、大黒山、筍山、赤城
 山、尖った武尊山。平標山か ら谷川岳への尾根筋、巻機山
 と続き、この新潟県側窪地は 見事な雲のジュウタンになっ
 ている。

苗場山から富士山が見える はず、と聞いたことがある。
 谷川連峰から見えるのだから、 苗場山から富士山が見えても
 おかしくない。同行の杉本敏 が「あれだ」と指を突き出す。
 それは白砂山と三角点203 5・9mの間、わずかに切れ
 落ちた所に、頭をほぼ平にし ている。良くみれば2ヶ所程
 コブになっている。左側に雲 が少し懸かっている。2000
 のズームレンズで確認しシ ャッターを切る。手前に重な

っている山がある。地図で見 ると甲武信ヶ岳あたりになる。
 台風一過の晴天を期待して 苗場山に登り、途中あきらめ
 てやけを起し、休憩した場 所でこんな展望に出会うとは、
 解らないものである。
 富士山は、山頂小屋付近で は白砂山に隠れて見えない。
 抜川コースは、神楽ガ峰と雲 尾坂を登った頂部で、白砂山
 の左側に見えると言う。当日 は室賀輝男協会長、今成幸夫
 常務理事、土田幸雄総務もこ なた元気に歩き出す。
 の位置から眺望している。小 赤沢コース9合目のシラピソ
 林へ入る高い位置からも見え る。(この位置で最初に見て
 富士山との確認は困難)
 満足して休憩地に戻ったら、 ビールの泡が消えていた。1
 時間も展望を楽しんでいた。 現金なもので願望を果たし
 たら足取りも軽く、山頂遊仙 閣横、大赤沢コース終点地点
 にある一等三角点を目指して、

地元の山紹介

とろっこの会

岩崎

功

風吹岳 (1907m)

風吹岳 (1907m)
 南西に2437mの乗鞍岳 があるため、白馬方面の見通
 しはきかないが、雪倉、朝日、 大池につく。風吹岳、横前倉
 山、岩菅山、が同じ標高で三 角形にある。あとは北小谷へ
 降りてもいいし、今来た道を 引返して、蓮華温泉で汗を流
 してもいい。風吹岳登山口よ り蓮華温泉まで、歩いて40分
 ほどである。最盛期以外バス の本数が少ない。

われらが仲間達 (1)

菅名山岳会

- 1. 責任者 熊倉久男
- 2. 創部 昭和36年5月
- 3. 会員 28名(62・10・1現在)
- 4. 行事の紹介(一般登山者を対象に)
- 5. 事務局(連絡先)

五泉市における菅名岳の「ブナ原生林」については、学術的に貴重であることから、県、市及び議会各種団体が一体となって自然保護に取り組まれましたことには既にご承知のことと存じますが、当菅名山岳会も後援団体として参画し、春の山開きは当会独自で22年続け(以後は市が主催、主管は当会)今年で26回目となりました。

氷雪技術研修会案内

日本山岳協会

- 1. 趣旨 各県の中堅指導員を中心とした研修を行い、指導員の資質の向上および均衡をはかるとともに、公認指導員検定会の検定員の育成ならびに指導要領の研修を行う。
- 2. 参加資格 公認指導員の資格を有し、岳連会長より推せんされた者。
- 3. 研修内容 氷雪技術(検定基準を中心として)
- 4. 期日 昭和63年3月19日~21日
- 5. 場所 富士山(吉田口五合目以上)
- 6. 参加人員 40名
- 7. 研修日程 2泊3日 細部についての日程は後日書

また、秋は「菅名岳から鳴沢峰」を経て咲花温泉へ縦走するコースを一般登山者を対象に実施し、いづれも年ごとに参加者が増加しております。当会の行事の大綱は、前記の行事は一般登山者を対象に、会員の山歩きは1月1日の菅名岳登山(1泊2日)から始まり、月1回から2回実施し、定例山行以外として、5月から

- 1. 趣旨 各県の中堅指導員を中心とした研修を行い、指導員の資質の向上および均衡をはかるとともに、公認指導員検定会の検定員の育成ならびに指導要領の研修を行う。
- 2. 参加資格 公認指導員の資格を有し、岳連会長より推せんされた者。
- 3. 研修内容 氷雪技術(検定基準を中心として)
- 4. 期日 昭和63年3月19日~21日
- 5. 場所 富士山(吉田口五合目以上)
- 6. 参加人員 40名
- 7. 研修日程 2泊3日 細部についての日程は後日書

- 1. 趣旨 各県の中堅指導員を中心とした研修を行い、指導員の資質の向上および均衡をはかるとともに、公認指導員検定会の検定員の育成ならびに指導要領の研修を行う。
- 2. 参加資格 公認指導員の資格を有し、岳連会長より推せんされた者。
- 3. 研修内容 氷雪技術(検定基準を中心として)
- 4. 期日 昭和63年3月19日~21日
- 5. 場所 富士山(吉田口五合目以上)
- 6. 参加人員 40名
- 7. 研修日程 2泊3日 細部についての日程は後日書

- 1. 趣旨 各県の中堅指導員を中心とした研修を行い、指導員の資質の向上および均衡をはかるとともに、公認指導員検定会の検定員の育成ならびに指導要領の研修を行う。
- 2. 参加資格 公認指導員の資格を有し、岳連会長より推せんされた者。
- 3. 研修内容 氷雪技術(検定基準を中心として)
- 4. 期日 昭和63年3月19日~21日
- 5. 場所 富士山(吉田口五合目以上)
- 6. 参加人員 40名
- 7. 研修日程 2泊3日 細部についての日程は後日書

- 1. 趣旨 各県の中堅指導員を中心とした研修を行い、指導員の資質の向上および均衡をはかるとともに、公認指導員検定会の検定員の育成ならびに指導要領の研修を行う。
- 2. 参加資格 公認指導員の資格を有し、岳連会長より推せんされた者。
- 3. 研修内容 氷雪技術(検定基準を中心として)
- 4. 期日 昭和63年3月19日~21日
- 5. 場所 富士山(吉田口五合目以上)
- 6. 参加人員 40名
- 7. 研修日程 2泊3日 細部についての日程は後日書

- 1. 趣旨 各県の中堅指導員を中心とした研修を行い、指導員の資質の向上および均衡をはかるとともに、公認指導員検定会の検定員の育成ならびに指導要領の研修を行う。
- 2. 参加資格 公認指導員の資格を有し、岳連会長より推せんされた者。
- 3. 研修内容 氷雪技術(検定基準を中心として)
- 4. 期日 昭和63年3月19日~21日
- 5. 場所 富士山(吉田口五合目以上)
- 6. 参加人員 40名
- 7. 研修日程 2泊3日 細部についての日程は後日書

- 1. 趣旨 各県の中堅指導員を中心とした研修を行い、指導員の資質の向上および均衡をはかるとともに、公認指導員検定会の検定員の育成ならびに指導要領の研修を行う。
- 2. 参加資格 公認指導員の資格を有し、岳連会長より推せんされた者。
- 3. 研修内容 氷雪技術(検定基準を中心として)
- 4. 期日 昭和63年3月19日~21日
- 5. 場所 富士山(吉田口五合目以上)
- 6. 参加人員 40名
- 7. 研修日程 2泊3日 細部についての日程は後日書

- 1. 趣旨 各県の中堅指導員を中心とした研修を行い、指導員の資質の向上および均衡をはかるとともに、公認指導員検定会の検定員の育成ならびに指導要領の研修を行う。
- 2. 参加資格 公認指導員の資格を有し、岳連会長より推せんされた者。
- 3. 研修内容 氷雪技術(検定基準を中心として)
- 4. 期日 昭和63年3月19日~21日
- 5. 場所 富士山(吉田口五合目以上)
- 6. 参加人員 40名
- 7. 研修日程 2泊3日 細部についての日程は後日書

- 1. 趣旨 各県の中堅指導員を中心とした研修を行い、指導員の資質の向上および均衡をはかるとともに、公認指導員検定会の検定員の育成ならびに指導要領の研修を行う。
- 2. 参加資格 公認指導員の資格を有し、岳連会長より推せんされた者。
- 3. 研修内容 氷雪技術(検定基準を中心として)
- 4. 期日 昭和63年3月19日~21日
- 5. 場所 富士山(吉田口五合目以上)
- 6. 参加人員 40名
- 7. 研修日程 2泊3日 細部についての日程は後日書

- 1. 趣旨 各県の中堅指導員を中心とした研修を行い、指導員の資質の向上および均衡をはかるとともに、公認指導員検定会の検定員の育成ならびに指導要領の研修を行う。
- 2. 参加資格 公認指導員の資格を有し、岳連会長より推せんされた者。
- 3. 研修内容 氷雪技術(検定基準を中心として)
- 4. 期日 昭和63年3月19日~21日
- 5. 場所 富士山(吉田口五合目以上)
- 6. 参加人員 40名
- 7. 研修日程 2泊3日 細部についての日程は後日書

- 1. 趣旨 各県の中堅指導員を中心とした研修を行い、指導員の資質の向上および均衡をはかるとともに、公認指導員検定会の検定員の育成ならびに指導要領の研修を行う。
- 2. 参加資格 公認指導員の資格を有し、岳連会長より推せんされた者。
- 3. 研修内容 氷雪技術(検定基準を中心として)
- 4. 期日 昭和63年3月19日~21日
- 5. 場所 富士山(吉田口五合目以上)
- 6. 参加人員 40名
- 7. 研修日程 2泊3日 細部についての日程は後日書

- 1. 趣旨 各県の中堅指導員を中心とした研修を行い、指導員の資質の向上および均衡をはかるとともに、公認指導員検定会の検定員の育成ならびに指導要領の研修を行う。
- 2. 参加資格 公認指導員の資格を有し、岳連会長より推せんされた者。
- 3. 研修内容 氷雪技術(検定基準を中心として)
- 4. 期日 昭和63年3月19日~21日
- 5. 場所 富士山(吉田口五合目以上)
- 6. 参加人員 40名
- 7. 研修日程 2泊3日 細部についての日程は後日書

- 1. 趣旨 各県の中堅指導員を中心とした研修を行い、指導員の資質の向上および均衡をはかるとともに、公認指導員検定会の検定員の育成ならびに指導要領の研修を行う。
- 2. 参加資格 公認指導員の資格を有し、岳連会長より推せんされた者。
- 3. 研修内容 氷雪技術(検定基準を中心として)
- 4. 期日 昭和63年3月19日~21日
- 5. 場所 富士山(吉田口五合目以上)
- 6. 参加人員 40名
- 7. 研修日程 2泊3日 細部についての日程は後日書

- 1. 趣旨 各県の中堅指導員を中心とした研修を行い、指導員の資質の向上および均衡をはかるとともに、公認指導員検定会の検定員の育成ならびに指導要領の研修を行う。
- 2. 参加資格 公認指導員の資格を有し、岳連会長より推せんされた者。
- 3. 研修内容 氷雪技術(検定基準を中心として)
- 4. 期日 昭和63年3月19日~21日
- 5. 場所 富士山(吉田口五合目以上)
- 6. 参加人員 40名
- 7. 研修日程 2泊3日 細部についての日程は後日書

- 1. 趣旨 各県の中堅指導員を中心とした研修を行い、指導員の資質の向上および均衡をはかるとともに、公認指導員検定会の検定員の育成ならびに指導要領の研修を行う。
- 2. 参加資格 公認指導員の資格を有し、岳連会長より推せんされた者。
- 3. 研修内容 氷雪技術(検定基準を中心として)
- 4. 期日 昭和63年3月19日~21日
- 5. 場所 富士山(吉田口五合目以上)
- 6. 参加人員 40名
- 7. 研修日程 2泊3日 細部についての日程は後日書

- 1. 趣旨 各県の中堅指導員を中心とした研修を行い、指導員の資質の向上および均衡をはかるとともに、公認指導員検定会の検定員の育成ならびに指導要領の研修を行う。
- 2. 参加資格 公認指導員の資格を有し、岳連会長より推せんされた者。
- 3. 研修内容 氷雪技術(検定基準を中心として)
- 4. 期日 昭和63年3月19日~21日
- 5. 場所 富士山(吉田口五合目以上)
- 6. 参加人員 40名
- 7. 研修日程 2泊3日 細部についての日程は後日書

- 1. 趣旨 各県の中堅指導員を中心とした研修を行い、指導員の資質の向上および均衡をはかるとともに、公認指導員検定会の検定員の育成ならびに指導要領の研修を行う。
- 2. 参加資格 公認指導員の資格を有し、岳連会長より推せんされた者。
- 3. 研修内容 氷雪技術(検定基準を中心として)
- 4. 期日 昭和63年3月19日~21日
- 5. 場所 富士山(吉田口五合目以上)
- 6. 参加人員 40名
- 7. 研修日程 2泊3日 細部についての日程は後日書

- 1. 趣旨 各県の中堅指導員を中心とした研修を行い、指導員の資質の向上および均衡をはかるとともに、公認指導員検定会の検定員の育成ならびに指導要領の研修を行う。
- 2. 参加資格 公認指導員の資格を有し、岳連会長より推せんされた者。
- 3. 研修内容 氷雪技術(検定基準を中心として)
- 4. 期日 昭和63年3月19日~21日
- 5. 場所 富士山(吉田口五合目以上)
- 6. 参加人員 40名
- 7. 研修日程 2泊3日 細部についての日程は後日書

教習種目 大型・普通(第1種)大特
自二輪・身障者用各種自動車

中条自動車学校

北蒲原郡中条町大字高野字茨島
中条 (0254) 44-8071
社長 高野 愛子

読書は万能の基

新潟市営所通1-301

学生書房

電話 025-222-9870番